

## 血液等オプション検査申込書

検査項目名称	検査結果からわかる代表的な内容	料金	希望する項目に○をつけてください。
<b>がん関連</b>			
① CEA	大腸・胃・すい臓などがん全般の検査に用いられます	¥2,000	
② CA19-9	すい臓がん	¥2,000	
③ AFP	肝臓がん	¥2,000	
④ CA125	卵巣がん	¥2,000	
⑤ PSA	前立腺がん	¥2,000	
⑥ 腫瘍マーカーセット	男性 (CEA・CA19-9・AFP・PSA) 女性 (CEA・CA19-9・AFP・CA125)	¥6,000	
⑦ 便潜血検査 (専用の採便容器が必要です。)	大腸がん	¥1,300	
⑧ ABC検診 (ペプシノーゲン ヘリコバクターピロリ抗体)	胃がん	¥4,000	
<b>心臓病</b>			
⑨ BNP(脳性ナトリウム利尿薬 <sup>®</sup> フト <sup>®</sup> )	心臓病	¥2,000	
<b>甲状腺疾患</b>			
⑩ FT3、FT4、TSH	甲状腺疾患	¥3,600	
<b>糖尿病</b>			
⑪ ヘモグロビンA1c	糖尿病	¥500	
<b>感染症</b>			
⑫ HBs抗原	B型肝炎ウイルス	¥500	
⑬ HCV抗体	C型肝炎ウイルス	¥1,200	
⑭ RPR定性、TPHA定性	梅毒検査	¥700	
<b>アレルギー関連</b>			
⑮ 非特異的IgE(RIST)	アレルギー体質を見分ける検査に用いられます	¥1,200	
⑯ 皮膚炎パネル8	アレルギー (HD1,動物上皮(マルチ),加 <sup>®</sup> (マルチ),卵白,牛乳,小麦,米,大豆)	¥7,700	
⑰ 鼻炎パネル8	アレルギー (ダニ1,HD1,加 <sup>®</sup> カヤ,ハコバ(属),スギ,ヒノキ,ガ,加 <sup>®</sup> (マルチ))	¥7,700	
⑱ 喘息パネル8	アレルギー (ダニ1,HD1,加 <sup>®</sup> カヤ,スギ,ヒノキ,動物上皮(マルチ),ガ,加 <sup>®</sup> (マルチ))	¥7,700	
⑲ アトピー鑑別試験	12種類の代表的な吸入性アレルギーをチェックし陰性が陽性で定性報告されます	¥2,000	

\*表示価格は全て税込みです。

\*今回の健康診断を受診される際に追加していただける検査です。

合計金額

円

オプション検査は法定外項目となるため実施にあたり同意が必要です。  
受診に同意される場合は自署してください。

団体名 \_\_\_\_\_

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

## 《がん関連》

- ★ **CEA**  
大腸、胃、肺などに生じるガンがある場合に血液中に増加します。ただ、他の臓器のガン、肝炎や肝硬変、胃潰瘍等でも高値となることがあり、他の検査と総合的に精査することが必要です。
- ★ **CA19-9**  
膵臓や胆管、胆のうがガンの時血液中に顕著に増加します。また、消化管や唾液腺、気管支腺、子宮内膜等でも増加します。膵炎や胆石等で高い場合は、症状の沈静化により減少します。
- ★ **AFP**  
肝臓の原発性のガンの場合、顕著に増加します。胃ガンや肝硬変、肝炎、妊娠でも高くなることがあります。
- ★ **CA125**  
とくに卵巣ガンの発症の時、顕著に増加します。子宮内膜、子宮頸部のガン、その他の臓器にできるガン、あるいは良性腫瘍でも高値になることがあり、他の検査と合わせて精査する必要があります。
- ★ **PSA**  
前立腺ガンの発症で増加します。ただし、前立腺肥大症でも高くなる場合がありますので、他検査との精査が必要です。
- ★ **便潜血検査**  
消化管の出血性の病気で、とくに、大腸ガンのスクリーニング検査として使われています。2日間の採便で検査を行います。陽性の場合、出血部位および疾患の特定のため、精密検査(注腸、カメラ等)を受けられることをお勧めします。
- ★ **ABC検診(ペプシノーゲン,ヘリコバクターピロリ抗体)**  
血液中のペプシノーゲン値とヘリコバクターピロリ抗体値をみることで、胃ガンになりやすいかどうかのリスク(危険度)分類をする検査です。

## 《心臓病》

- ★ **BNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)**  
心臓に負担がかかると心臓(主に心室)から血液に分泌されるホルモンで、このBNPの数値が高いほど心臓に負担がかかっているといえます。臨床的には、心筋梗塞、心不全の診断・予後判定に有用であり、血液検査で心疾患を測定できる唯一の検査といえます。

## 《糖尿病》

- ★ **ヘモグロビンA1c**  
赤血球の中にある酵素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したものです。過去1～2ヵ月間の平均血糖値を表します。血糖値は食事などの影響を受けて一時的に上下するため、糖尿病であるか否かの判断やその治療、管理の指標として用いられます。

## 《甲状腺疾患》

- ★ **FT<sub>3</sub>・FT<sub>4</sub>・TSH**  
からだ全体の新陳代謝を促進するホルモン(甲状腺ホルモン)を出すところです。喉ぼとけの左右に1個ずつあり、真ん中でつながっています。甲状腺ホルモンは生きてゆく上では欠かせません。このホルモンがなくなると1～2ヵ月ぐらいいか生きられないといわれています。

## 《感染症》

- ★ **HBs抗原**  
B型肝炎ウイルスの表面抗原でHBs抗原陽性とはすなわち、B型肝炎ウイルスに感染状態にあるということです。
- ★ **HCV抗体**  
C型肝炎ウイルスのことで、血清中のHCV抗体を測定することによりC型肝炎の感染の有無を調べることができます。
- ★ **梅毒(RPR定性・TPHA定性)**  
梅毒の原因菌に対する抗体を測定することで、梅毒にかかったかどうかを調べる検査です。

## 《アレルギー関連》

- ★ **非特異的IgE(RIST)**  
アレルギー体質だと値は高くなります。アレルギー体質かどうかを見分ける重要な値となっています。
- ★ **皮膚炎パネル8,鼻炎パネル8,喘息パネル8**  
アレルギーを特定する上で有効な検査です。各症状別で8項目ずつの特異的IgEを検査します。
- ★ **アトピー鑑別試験**  
12種類の代表的な吸入性アレルギーに対する特異的IgEを検出し、結果は陰性が陽性で定性報告されます。ただし、陽性の場合、12種類のうちどのアレルギーが陽性なのか特定することはできないため、原因アレルギーを確定するには個別の特異的IgE検査が必要です。